



Campus Guide
2025

EPU

EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

公立大学法人

愛媛県立医療技術大学

保健科学部

看護学科

臨床検査学科

助産学専攻科 大学院保健医療学研究科

羽ばたけ、志ある医療人

大学の特徴 本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。

将来“医療のリーダー”となる 優秀な人材を育成

- 高度な専門教育はもちろん、社会を生き抜く基礎力の育成に力を入れている



看護学科と臨床検査学科が合同で学ぶ

- 異なる職種の相互理解を深め、医療人としての基礎をつくる
- 臨床検査学科は県内で唯一のコースである



高い国家試験合格率と就職率100%

- 毎年全国平均を大きく上回る国家試験合格率を誇る
- 多くの求人があり、就職率は毎年100%



県内で唯一、助産学専攻科がある

- 卒業後の進学先として、コースの充実した助産師教育課程（1年制）が併設されている



CONTENTS

学長からのメッセージ	02
大学の理念・目的	03
技と思考を鍛える／沿革	04
保健科学部	05
この大学を選んだ理由	09

看護学科	11
臨床検査学科	15
保健医療学研究科(大学院)	19
助産学専攻科	21
学生支援／授業料	23
卒業生の状況	24

キャンパスマップ	25
図書館／地域交流センター	26
キャンパスカレンダー	27
サークル紹介／学生食堂	28
入試情報／オープンキャンパス	29
アクセス	30

松山市の郊外、「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。

学生一人あたりに対して、教員数が多い

- 学生同士も教員とも家庭的な雰囲気、きめ細やかな指導とサポートを受けることができる



学びに集中できる、住みよい環境

- 静かで、春にはみかんの花の香りに包まれる自然豊かな地域にあり、勉学に集中できる
- 住民に見守られ、治安も良い



実習先が豊富で、多岐にわたる

- 病院だけでなく、保健所や検査機関、福祉施設など、人々の健康と暮らしに関係する多様な場での実習が準備されている



施設が充実し、整備されている

- 何度でも自主練習ができる実習室が整っている
- 図書館には検査、看護に関する専門書が充実しており、外部からの利用も多い



愛顔（SMILE）あふれる大学

今我が国は、人口減少や高齢化による疾病構造の変化やそれに伴う医療提供体制の変革など私たちを取り巻く環境が大きく変化しています。また、医学の目覚ましい進歩に伴って医療の専門化や高度化が進み、高度先進医療への期待も高まっています。このような医療を取り巻く様々な課題に柔軟に対応でき、患者さんやそのご家族に寄り添った心温かい医療が提供できる人材を育成し、社会に送り出すことが我々の使命です。

私が目指す大学は、学生中心の大学(Student)、使命を果たせる大学(Mission)、国際性豊かな大学(International)、地域に根差した大学(Local)、そして愛媛に貢献できる大学(Ehime)、この5つの頭文字を合わせた「愛顔(SMILE)あふれる大学」です。

本学を志望する皆さんは、医療人としての資格を得て社会に旅立つことが一番の

—— 学長からのメッセージ

目標だと思いますが、大学で学ぶべきこと、修得すべきことは決してそれだけではありません。高い人間性、幅広い教養、そして豊かな感性を身に付けることも大学生活では大切なことだと考えます。

本学は、自由闊達に勉学やサークル活動に励むことができる素晴らしい環境に恵まれ、教職員の教育に対する熱意に溢れています。私たちは皆さんの素晴らしい潜在能力が大きく花開き実り多いものになるよう全力で支援することをお約束します。

「叩けよさらば開かれん」積極的に努力すれば必ず目標を達成することができます。皆さんのご活躍を大いに期待しています。

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学 学長 安川 正貴





大学の理念・目的

「生命の尊重」を基本理念として、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、高度の専門的な知識と技術を備えた人材を育成するとともに、地域に開かれた大学として、教育及び研究を推進し、その成果を社会に還元することにより、地域社会における保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

本学の教育研究組織

保健科学部

看護学科

臨床検査学科

保健医療学研究科(大学院)

看護学専攻

医療技術科学専攻

助産学専攻科

図書館

地域交流センター



技と思考を鍛える

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、

「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。

本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。

社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。

4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。

決してやさしい道ではありませんが、

プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

沿 革

昭和62年12月 愛媛県立医療技術短期大学認可

昭和63年 4月 愛媛県立医療技術短期大学開学

平成 3年 4月 愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設

平成15年11月 愛媛県立医療技術大学設置認可

平成16年 4月 愛媛県立医療技術大学開学

平成19年 3月 愛媛県立医療技術短期大学閉学

平成22年 4月 公立大学法人に移行

平成24年 4月 愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設

平成25年12月 愛媛県立医療技術大学大学院設置認可

平成26年 4月 愛媛県立医療技術大学大学院開設

保健科学部

看護と臨床検査の2学科からなり、
学生と一緒に学ぶことでチーム医療への理解も深まります。

教育研究上の目的

豊かな人間性と高度な専門知識・能力を備えた人材の育成を図るとともに、保健医療分野における教育・研究・地域貢献の拠点として中心的な役割を担い、保健医療の発展に寄与することを教育研究上の目的とする。(学則第3条)

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

豊かな感性

深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。

実践能力

高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。

協調・協働

保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・協働しうる人材を育みます。

自己教育力

職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。

柔軟な思考

医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に柔軟に対応しうる人材を育みます。

グローバルな視点

自分とは異なる物の見方や考え方をしているという多様性を受け入れ、グローバルな視点で物事を考えられる人材を育みます。



保健科学部 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、学科ごとに指定する能力を修得できていることを要件とする。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

- 看護学科・臨床検査学科で構成される保健科学部のカリキュラムは、「共通教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3群で組み立て、1年次から4年次にかけて系統的に配置します。
- 「共通教育科目」は教養及び豊かな人間性を涵養する〔教養科目群〕と医療職として求められる人間理解とコミュニケーション能力、課題探究力の育成を意図した〔基礎科目群〕で構成し、1・2年次に開講します。特に、自己教育力を高めることを目指し、大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用方法を身に付ける科目（初学者ゼミ、基礎ゼミ等）を1年次に配置します。
- 「専門基礎科目」は各学科の高い専門教育の土台となるとともに医療人としての共通の知識と態度を学ぶ科目群と位置づけ、相互理解と連携・協働力の育成につながるようほとんどの科目を両学科合同開講とします。
- 「専門科目」では高度な知識・技術を学びつつ、2年次からの段階的な臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合する力を身につけられるよう科目を配置します。4年次には、これらの仕上げとして統合、探究、発展に向けた科目等を学習し、課題解決能力や研究的な視点を学ぶカリキュラム構成とします。

アドミッション・ポリシー〈入学受入れ方針〉

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受け入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療に関心をもち、地域社会に貢献する意欲がある人
- 自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
- 物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
- 保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人



砥部の里で共に学び医療職の一員へ

本学は人々が健康に生きることを支援する看護職と正確な診断・判定に寄与する臨床検査技師を育成する医療系大学です。将来の医療職という共通基盤のもと、小規模校であることを強みに、学科を超えて学生同士が切磋琢磨し合います。医療職の一員となるための学修は簡単ではありませんが、保健科学部では教育環境を整え、教職員の丁寧な指導と支援、ならびに地域の病院や関連施設等の方々のご理解とご協力を得て、信頼される医療人になれるよう“技と思考”“人間力”を鍛えていきます。卒業後の進路先には、1年課程の助産学専攻科、大学院も設置され、さらなるキャリアアップの道も拓かれています。この愛媛・砥部の里でともに学び、医療職の一員に加わってくださることを願っています。



学部長 中西 純子

保健科学部 カリキュラムの特色

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学究的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

人間理解および倫理観の醸成

広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。

地域住民の生活理解と健康増進への寄与

社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生と一緒に学び、人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。

コミュニケーション能力の養成

基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技法の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。

実践に活用できる専門的知識・技術の修得

臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。

チーム医療の実践力の強化

2学科で構成される大学の特色を生かし、両学科一緒に学ぶ科目を配しています。4年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種の役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。

課題探究能力の養成

1年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用法を段階的に身につけます。4年次には統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。

グローバルな視点の涵養

人間の多様性や医療ニーズの多様化に対応できる広く包括的な視点を涵養するため、異文化を理解する科目の配置や病院のみならず地域の様々な場所での実習を取り入れています。



保健科学部 カリキュラムの概要

共通教育科目

専門基礎科目

専門科目



看護学科



臨床検査学科

基礎科目

教養科目

医療の基礎

人間の
身体と精神

疾病の
成り立ちと回復

社会のしくみと
健康

検査の基礎
(臨床検査学科のみ)

専門分野Ⅰ

基礎看護学

専門分野Ⅱ

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

統合・発展分野

地域・在宅看護学

看護の統合と発展

●看護アセスメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ

●災害看護学Ⅰ・Ⅱ

●看護管理学Ⅰ・Ⅱ

●看護教育学

●看護研究

●総合実習

公衆衛生看護学※

※公衆衛生看護学等選択者必修科目

臨床検査の基本

検査総合管理学

臨床検査の応用と発展

医学検査研究

医学検査診断学

臨床検査の展開・実践

臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

生理機能検査学

感染・生体防御検査学

生体試料分析検査学

形態検査学

この大学を選んだ理由

看護学科

地域との繋がりが強いのも 僕にとっては魅力でした

僕が看護師を目指したのは小学生の時の入院経験からです。つらく孤独な入院生活の中で、看護師さんの優しい言葉がとても支えになりました。また心配する母にも優しい言葉をかけてくれ、僕もその家族まで励ますことができるような看護師になりたいと思いました。

看護学科卒業生 林 裕晃さん



臨床検査学科

私の目標を実現するために 最適な大学だと思い選びました

母や祖父母の仕事の影響で、幼い頃から将来は医療に携わる職に就きたいと思っていました。色々調べる中で、様々な形で患者さんや医師の役に立てる臨床検査技師に魅力を感じ、愛媛県立医療技術大学を志望しました。少人数で学べること、充実した最新の医療器械などが魅力です。

臨床検査学科卒業生 吉岡 愛加さん



看護学科

4年制

定員75名



◀看護学科の詳細情報はこちら

Department of Nursing

取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

公衆衛生看護学選択者のみ取得可能

— 養護教諭2種免許申請資格 一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。

— 衛生管理者免許申請資格 ※養護教諭2種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

看護師国家試験 (令和5年度)

合格率

98.6%

(令和5年度新卒者全国平均 93.2%)

保健師国家試験 (令和5年度)

合格率

100%

(令和5年度新卒者全国平均 97.7%)

教育研究上の目的

看護学を中心とする保健医療に関わる専門的な知識の構築及び技術の開発につながる研究活動を展開し、その成果に基づく教育活動を通して、保健医療に対する社会的な要請に応え得る高度な専門知識、技術及び能力並びに高い倫理観を持つ人材を育成する。(学則第3条)

教育目標

看護学科では保健科学部の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。

1. 高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、自己決定権を尊重する看護ができる人材
2. 科学的根拠に基づいた看護が実践できる人材
3. 多職種で連携・協働しながら看護職としての役割を果たせる人材
4. 看護職として責任ある行動がとれ、主体的な継続学習により自己研鑽に努める人材
5. 保健医療福祉の変化を捉え、看護の発展・向上に寄与できる人材
6. 多様な見方・考え方を受け入れ、グローバルな視点で物事を考えられる人材

本学の進学に関心を寄せている方へのメッセージ

皆さんは答えのない不確実な時代を生き抜く力を身につけることが求められています。加えて看護職は、複雑多様な人々を一人の生活者として理解し、その人が自分らしくより豊かに生きることを、科学的根拠に基づき支援する力を身につける必要があります。そのためには、自ら主体的に学び、課題を見出し解決する姿勢が大切になります。本学では皆さんの学びを支援するためにカリキュラムを編成し教育活動を行っています。学生生活での様々な経験を通して、また私たち教員を資源として活用し、一人の人として成長していただきたいと思います。



看護学科長 越智 百枝

主な実習施設

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関
松山市・伊予市・東温市の高齢者福祉施設
松山市の訪問看護ステーション

愛媛県内の保健所及び市町保健センター・企業
砥部町の保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校
松山市・砥部町の精神障がい者の社会復帰施設

Point | 学びのポイント

看護学教育の充実を図り、キャリア発達を促すことのできる、より看護実践能力を高める教育内容となっております。



基礎教育講座

医療従事者として豊かな人間性と幅広い教養を身につけることを目的に学生教育を行っています。

基礎看護学講座

「看護とは何か」を主題に看護の対象理解、看護者としてのものの見方・考え方や、看護の実践に不可欠な看護技術を習得します。

母性・小児看護学講座

妊娠・出産・子育てを中心とした女性の健康への支援と、子どもの成長・発達、病気の子どもと家族への支援などの看護を探究します。

成人・老年看護学講座

成人看護学(急性期、慢性期、リハビリテーション期)と老年看護学において様々な健康レベルにある人への看護を探究しています。

地域・精神看護学講座

地域社会で生活している人々が、自分たちの意思と力で健康的な生活が出来るための支援について追求する講座です。

看護学科 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。
- 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。
- 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。
- 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。
- 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。
- 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。
- グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

保健科学部としてのカリキュラム・ポリシーのもとに、看護学科では、教育目標、ディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のような方針で教育課程を実施します。

- 入学後早期より看護学への関心を高めるため、「共通教育科目」「専門基礎科目」と並行して「専門科目」のうちの基礎部分の学修を開始し、臨地実習も1年次から配置する。
- 専門基礎科目では看護実践の根拠となる確かな知識が修得できることを目指して科目を構成する。すなわち、[医療の基礎][人間の身体と精神][疾病の成り立ちと回復][社会のしくみと健康]に関する科目群を配置し、人間を多面的に捉えるようにする。
- 専門科目では、基礎から応用・発展へと学修が進むよう系統的に配置する。すなわち、[基礎看護学]を1・2年次に配置し、この学修を基盤とし、2年次～4年次に、人間の発達段階や健康レベル、看護を提供する場の特性別に[小児看護学][地域看護学]等の各看護分野の科目を配置する。また、4年次には、より深い専門性と看護の本質を探究する能力を修得するため、総合実習・看護研究等を置き、さらに看護教育・看護管理・災害看護分野のいずれかを選択して学修を発展させる。
- 学修の水準を段階的に向上させるよう系統的に構成すると同時に、各段階で、知識の統合、知識と体験の統合が図れるよう「看護アセスメント」等の統合科目の配置や教育方法の工夫を行う。
- 教育方法には、根拠に基づいた看護実践能力を修得するため、事例や場面を設定したシミュレーション等、演習を多く取り入れる。また、課題学習や実習ポートフォリオの活用により、自己教育力を高める。

アドミッション・ポリシー〈入学受入れ方針〉

看護は、人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。超高齢社会にあって、看護職は医療機関はもちろんのこと地域・在宅・福祉施設や企業・学校など、多様な場において様々な人々と連携・協働していく役割が求められています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、看護学科では、保健科学部として求める学生像に加えて右記のような入学生を求めます。

- 看護職として地域社会の役に立ちたいと考える人
- 人々の生き方・暮らし・健康・社会に関心がある人
- リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる人



看護学科生の学び 知識はもちろん、それ以上に人と接することが大切。自分自身の成長もここからスタート。

1年次



増田 萌花さん

友人や先生方に感謝しながら送る毎日

1年生では看護師としての専門知識だけでなく、一般教養も学ぶことができます。夏には企業や医療施設を訪問し、様々な方の働く姿を見たり、実際に患者さんと触れあったりしました。学んだ内容を振り返りグループで共有することで、自分の目指す看護師像について考える貴重な時間になりました。また、同じ目標を持つ大切な友人や丁寧なご指導をしてくださる先生方に会うこともでき、充実した日々を送れていると感じています。



Time schedule



看護学生としての土台を作る1年間

1年生は、基礎的な専門知識を身につけ、看護学生としての土台を作り上げる時期となっています。一般教養を学ぶ講義も多く、広い視野を身につけ、豊かな人間性を育むことができます。私は1年間を通して看護とは、患者の気持ちや今まで歩んできた人生、そしてその未来をそうぞう(想像、創造)し、患者自身の治る力を引き出すことなのだと思ふことができました。頼りがいのある友人や先生方に恵まれ、毎日楽しい大学生活を送っています。

福島 花菜さん

福島さんの1日

7:00 起床・朝食・身支度	19:00 夕食
8:50 授業	21:00 入浴
12:00 昼食 友達と学食で食べる	22:00 課題・予習・復習
13:00 授業	24:00 就寝
18:00 帰宅	



2年次



木村 美優さん

仲間との繋がり大切さ

2年次になると、注射や採血など1年次よりも専門性の高い演習が増えてきます。多くの看護知識が必要とされるため、授業外でも復習・予習を行い、日々学習に取り組んでいます。同じ夢を持つ仲間だからこそ、大変なときでも共に乗り越えたり、学生生活を楽しく過ごせたりしているのだと感じます。これからも仲間と切磋琢磨しながら学びを深め、充実した学生生活を送っていききたいです。



Time schedule



充実したキャンパスライフ

2年生の授業は、1年生の内容よりも専門分野が増えていき、知識の習得のための予習は欠かせません。授業の資料はもちろん、実践動画を活用しながら学習しています。また、自分だけでは理解が困難な事でも、友達と互いに教え合い、実技の練習をすることで楽しみながら学習ができています。課題は多いですが、友達と休日を過ごすことで息抜きしながら、目標に向かって充実した学校生活を送ることができています。

中田 菜々子さん

中田さんの1日

7:00 起床・朝食・身支度	13:00 3・4限 診療援助技術論演習
8:30 通学	16:20 課題
8:50 1限 実践と科学	18:00 アルバイト
10:30 2限 小児看護対象論	21:30 帰宅・夕食・入浴
12:00 友達とお弁当を食べる	24:00 就寝



3年次



高木 成美さん

将来就きたい医療職の選択

3年生になると、より専門的な学習になり、後期からは約半年に及ぶ領域別実習があります。領域別実習は、病院や保健所など様々な場所で行います。今まで学習してきた知識や技術を実践したり、実習先で新たに学習して学びを深めたりすることができます。また本学では看護師だけではなく、保健師資格も取得できます。将来医療職に就くための選択肢が広がり、具体的に働いている医療職のイメージを持つことができると思います。



Time schedule



充実した学習環境を実感

大学に入学した当初はコロナ禍だったため、学生同士が顔を合わせることが少なく不安でいっぱいでした。しかし、アットホームな環境の中で徐々に慣れていき、今では充実した大学生活を送ることができています。3年生では講義や実習に専門性が強く現れ、疑問や不安が多く出てきますが、先生や看護師さんが親身になって下さるので、学生が意欲的に取り組める環境として非常に整っていると思います。

佐竹さんの1日

5:30 起床
6:30 家を出る
8:30 実習先到着
17:00 実習終了
18:00 帰宅



18:30 実習記録の作成
19:00 夕食
20:00 実習記録の作成
24:00 就寝

佐竹 咲久さん

4年次



川田 百華さん

4年間で学んだ知識と経験を活かして成長を実感

4年生では総合実習や看護研究、就職活動や国家試験など、大きなイベントが控えています。また、公衆衛生看護選択者は本格的に講義も始まり、様々なことを並行して取り組むことに不安を感じていました。しかし、仲間の協力や先生方の支え、今までの実習や講義から得た経験や知識を最大限活用し、一つ一つ乗り越えることで自分自身の成長にも繋がりました。多くの達成感と充実感の得られる大学生活を送ることができました。



Time schedule



先生、仲間の存在が心の支え

4年生では総合実習、就職活動、卒業研究、国家試験があり、充実した大学生活を送っています。総合実習では、4年間の学びや経験から深めたい領域を選択することで、自身の看護観を養うことができました。2月には国家試験があり、実習で嬉しかったことや、将来像を思い描くと勉強のモチベーションも高まります。大変だと感じることもありますが、優しく熱心に指導して下さる先生方のサポートや、同じ目標に向かう仲間の存在が心の支えとなっています。

山口さんの1日

8:00 起床・朝食・身支度
9:00 友達と国家試験の勉強
12:00 昼食 友達と学食で食べる
13:00 友達と国家試験の勉強

18:00 夕食
19:00 アルバイト
23:00 帰宅・入浴・家事
24:00 就寝



山口 桃佳さん

臨床検査学科

4年制

定員25名



◀ 臨床検査学科の詳細情報はこちら

Department of Medical Technology

取得可能な資格

臨床検査技師国家試験受験資格

甲種危険物取扱者試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は
必要な選択科目を習得する必要があります。

臨床検査技師国家試験(令和5年度)

合格率

92.9%

(令和5年度新卒者全国平均 88.0%)

教育研究上の目的

医学検査学を中心とする保健医療に関わる研究活動を展開し、これに基づいた専門知識及び技術を教授するとともに、保健医療に対する社会的な要請に応え得る高度な専門知識、技術及び能力並びに高い倫理観を持つ人材を育成する。(学則第3条)

教育目標

臨床検査学科では保健科学部の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。

1. 医学検査の対象となる人を総合的に理解できるとともに、高い倫理観を身につけた人材
2. 検査データを総合的に解析する力を培い、様々な課題に対応できる実践能力を身につけている人材
3. 多職種と連携・協働しながら、医学検査領域の専門家としての役割を果たせる人材
4. 臨床検査技師として責任ある行動がとれ、継続的に自己研鑽に努める人材
5. 医学検査とそれに関連した幅広い分野の発展・向上に寄与できる学究的態度を身につけた人材
6. グローバルな視点で医学検査を科学的に探求し、地域社会における保健医療を発展させる基礎力を身につけた人材

臨床検査で医療現場に貢献する

医療の高度化・複雑化に伴い、診断・治療において臨床検査技師が果たすべき役割も一層重要なものとなっています。本学科では臨床検査に必要な基礎的・専門的知識と技術を修得し、状況に応じて適切な判断や解決能力を身につけることが出来るよう、教育に熱意のある経験豊富な教員が皆さんの学びの援助をします。



臨床検査学科長 則松 良明

主な実習施設

臨地実習Ⅰ

愛媛生協病院 国立病院機構愛媛医療センター 喜多医師会病院
済生会松山病院 松山市民病院 市立宇和島病院
鷹の子病院 住友別子病院
道後温泉病院 済生会西条病院

臨地実習Ⅱ

愛媛県衛生環境研究所
愛媛県総合保健協会
愛媛県厚生連健診センター

臨地実習Ⅲ

愛媛県立中央病院
愛媛大学医学部附属病院
国立病院機構四国がんセンター
松山赤十字病院

Point | 学びのポイント

医療従事者として高い倫理観を持ち、チーム医療の一翼を担うために必要な専門知識、技術を習得できるカリキュラム編成としています。



生体情報学講座

生体を構成する臓器や組織、細胞の形態を観察し、正常と異常の相違点、異常と疾患の関係を理解するために形態解析の検査技術及び理論を基礎から学びます。また、血液や尿に含まれる様々な成分を化学的分析法や遺伝子検査法を用いて測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するためのデータを得る方法について学びます。

基礎検査学講座

感染・生体防御検査学では、感染症を起こす病原微生物の検出方法や感染症の治療に用いる薬剤について、また病原体やがんから我々の体を守るために様々な免疫担当細胞や多くの反応因子により構築されている生体防御反応や自己免疫性疾患のような免疫システムの破綻がおこる疾患について学びます。生理機能検査学では、病気や診断や治療に必要な情報を得るために、ヒトの体に直接機器をあて行う検査手技やデータ解析方法について、また用いる機器の構造・原理などについても学びます。

臨床検査学科 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈卒業認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。
- 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。
- 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。
- 医学検査とそれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。
- 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学術的態度を身につけている。
- 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

保健科学部のカリキュラム・ポリシーのもとに、臨床検査学科では、教育目標、ディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のような方針で教育課程を実施します。

- 入学後早期より臨床検査学への関心を高めるため、「共通教育科目」「専門基礎科目」と並行して「専門科目」を学び、学年進行に従って基礎から応用へと専門性を深めることができるよう科目を配置する。
- 専門基礎科目には、看護学科と合同開講の〔医療の基礎〕〔人間の身体と精神〕〔疾病の成り立ちと回復〕〔社会のしくみと健康〕に関する科目群に加えて、臨床検査学科特有の〔検査の基礎〕に関する科目群を配置する。また、患者の心理に配慮した対応のできる検査技師の育成を目指し、〔人間の身体と精神〕に関する科目のひとつに「患者・家族の心理」を置く。
- 検査技術学の理論・実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を身につけるため、「専門基礎科目」と「専門科目」を学年進行とともに系統的に配置し、4年次にはそれらの応用・発展科目に位置づく科目、医学検査診断学、医学検査研究を置く。
- 臨床検査技師の活躍の幅を広げる目的で、自由科目として食品衛生管理者等の資格取得科目を開講する。
- 臨地実習は、中規模病院における臨床検査技師の役割と臨床検査の位置づけを学ぶ臨地実習Ⅰ、病院以外の場における臨床検査技師の活動について学ぶ臨地実習Ⅱ、大規模病院における各分野の臨床検査について学ぶ臨地実習Ⅲを2年次から4年次にかけて段階的に配置し、教室内学修との統合を図る。

アドミッション・ポリシー〈入学受け入れ方針〉

臨床検査は、病気の正確な診断や治療方針を決定するために必要なデータを提供する仕事です。最新の医学を基礎とし、医用機器を駆使した高度な検査を行うとともに、健康増進・予防医学・研究開発の分野でも役割を求められています。このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、臨床検査学科では、保健科学部として求める学生像に加えて右記のような入学生を求めます。

- 臨床検査技師として、保健医療の分野で活躍したい人
- 人間の体の仕組みや機能、健康・病気に関心がある人
- 他者を尊重し、連携・協働していける人



臨床検査学科生の学び 医療の現場でどう役割を背負っていくか。目標を持って一步一步近づいていくことが喜び。

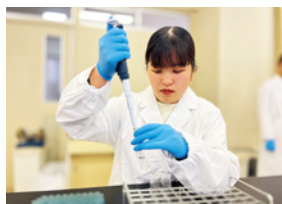
1年次



日野 里咲さん

将来に向けて一步踏み出した1年生

1年生の前期は看護学科との合同授業が多いですが、後期になると専門科目が増え、学内実習も始まります。最初は、高校時代とは全く異なる勉強で戸惑うことが多かったのですが、試行錯誤したり、先輩や友達にアドバイスをもらったりしながら乗り越えることができています。毎回の実習レポートも、友達と支え合いながら頑張っています。今の自分の頑張りが将来の自分に近づいていたら嬉しいなと思っています。



Time schedule



充実した学生生活

入学した当初は期待と不安が入り混じった状態でした。大学生活は、全てが自己責任であることがこれまでと大きく違い、様々なことを自分で管理する能力が身につきました。臨床検査学科は少人数のため、学生間の距離が近いのが素敵なおところだなと思います。この点を活かして、分からないところを教えあい、情報共有して支え合っています。同じ目標に向かって友達と一緒に勉強やサークル、アルバイトなど充実した日々を過ごしています。

井手窪 乃愛さん

井手窪さんの1日

7:00 起床
8:15 通学
8:50 1限 人体の構造と機能 III
12:00 友達とお弁当を食べる
13:00 3限 感染と免疫



14:40 4限 疾病発生の機序
16:10 5限 生理機能検査学概論
18:00 帰宅・夕食
19:00 アルバイト
22:00 入浴・予習復習
23:30 就寝

2年次



山口 双美さん

新たな学びを得られた1年間

2年生の前期では、より専門的な講義に取り組んでいます。新しい知識を得て、新鮮な学びを感じています。後期には学内実習が増え、講義で学んだ内容を深く理解することができます。講義や学内実習で困った際には、気軽に先生方に質問できるため、学びの助けとなっています。大学全体として、安心して学べる環境が整っており、先生方のサポートやクラスメイトとの連携が学びを豊かにしています。



Time schedule



専門知識と学内実習から深まる学び

2年生になると、専門教科の授業数がぐっと増えました。学内実習も本格的に始まり、座学で学んだ技術を実践として身につけたり、これまでに学んだ知識を使って考察したりしています。レポートが多いことや、覚えなければいけない知識が増えたことは大変ではありますが、友達と励ましあったり、先生や先輩方に助言を貰ったりして、乗り越えています。身近に助けしてくれる人たちがいてくれるため、とても充実した学校生活を送ることができています。

難波 和佳奈さん

難波さんの1日

7:30 起床
8:30 通学
8:50 1限 臨床化学 II
10:30 2限 生理機能検査学 II
12:00 昼食

13:00 臨床検査総論実習
16:30 帰宅
18:00 アルバイト
22:00 夕食・入浴
23:00 勉強
25:00 就寝



3年次



山口 穂也さん

実習を通じて身につく知識

3年生では生理機能や検体検査などの学内実習が多くあることで、将来就く仕事のイメージが明確になりました。2年生までの座学だけでは理解しきれなかったことも、自分の手で触り目で見ること、検査の原理や知識が身についてきています。学内では先生との距離がとても近いので、質問や相談をしながら勉強に励むことができます。また、空いた時間には趣味やサークル活動に参加し、充実した大学生活を送っています。



Time schedule



具体化する将来像

3年生では、これまでに学習した様々な専門分野の学内実習が始まります。実技を通して座学で理解しきれなかった内容を理解できたり、自分の得意不得意がわかったりと成長を感じられた機会が多くありました。また、実習を通して実際に医療現場で行われている検査を学習・経験し、どのような臨床検査技師になりたいか、どの分野で活躍したいかなど、自分自身の将来像を考えるようになりました。

田幡さんの1日

8:00 起床	13:00 輸血移植検査学実習
8:40 通学	18:00 帰宅・アルバイト
8:50 図書館で課題・レポート作成	21:00 入浴・家事・自由時間
10:30 2限 画像検査学	22:30 課題・レポート作成
12:00 学食でランチ	24:30 就寝

田幡 華乃さん



4年次



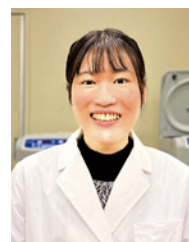
川口 桃花さん

忙しくも充実した日々

4年次は、臨地実習、卒業研究、就職活動、国家試験勉強などを並行して進めるためとても忙しく、学生同士で励ましあいながら乗り越えてきました。大変なことも多いですが、困ったことがあれば先生方が親身になって相談に乗って下さるので心強いです。臨地実習では、臨床現場を実際に見て、技師の方から直接教えていただくことで、自分の将来像の確立と、就職活動や国試勉強の糧となりました。



Time schedule



自分の未来像が明確に

4年生では、大病院での2か月間の臨地実習や卒業研究、就職活動、国家試験があります。臨地実習では3年生までに学んだことが実際にどのように病院で使われているかを知ることができ、より知識を深めることができました。また、患者さんや他の医療従事者の方たちとのコミュニケーションの取り方などを学ぶことができ、将来自分が病院で働いている姿をより明確にイメージすることができるようになりました。

坂中さんの1日

6:00 起床・身支度	18:00 実習先の勉強会に参加
7:30 自宅を出て実習先の病院に向かう	19:30 帰宅・夕食
8:30 臨地実習(午前)開始	20:30 入浴
12:00 実習先にて昼食	21:00 予習・復習
13:00 臨地実習(午後)開始	23:00 就寝
17:15 臨地実習終了・帰宅準備	

坂中 沙織さん



保健医療学研究科(大学院)

定員

看護学専攻 5名

医療技術科学専攻 3名

大学院の詳細情報はこちら▶



教育研究上の目的

保健医療学研究科(大学院)は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な調整能力・指導力・教育力等を有する高度専門職業人を養成することにより、本県の保健医療関係職種の質の向上を図り、もって県民の生涯を通じた健康づくりと保健医療水準の向上に寄与することを目的としています。

教育理念

保健医療学研究科(大学院)は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。



教育目標

本研究科は、保健医療分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成します。
- 地域社会で生じている保健医療の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について検討し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成します。
- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者・教育者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位(30単位以上で履修基準に定める単位数)を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。さらに、教育目標に照らし、専攻ごとに目指す能力を修得できていることを要件とする。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

本研究科は、高度専門職業人として種々の実践の場でリーダー・管理者・教育者などの役割を発揮するために、地域で生活する人々の保健医療全般にわたる現状や諸課題を広く理解し、総合的な判断力・調整力をもって看護、医療技術科学それぞれの分野において高い専門性を発揮できる人材の育成をねらいとしている。

このねらいを具現化するため、教育課程編成においては、まず、保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理力・教育力等を身につける上で必要と考える教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム論、医療倫理学特論を必修科目とする。そして、これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の広がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、看護学・医療技術科学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。

「共通科目」から「専門共通」「専門分野」へと段階的学修を積み重ね、選択した専門分野の学修の集大成として特別研究へと発展させる教育課程とする。

なお、大学院設置基準第14条特例に基づき、授業は夜間、土曜日・日曜日に開講する。

各科目の評価はシラバスに明示した方法で実施し、修了判定はあらかじめ周知する基準にもとづく論文審査・最終審査をもって行う。

授業・カリキュラムの評価については、各科目の授業評価や学生との意見交換、修了時のカリキュラム評価等により改善につなげる。

アドミッション・ポリシー〈入学受け入れ方針〉

本学大学院の設置理念や教育目的に賛同し、修士課程での学修を通してさらに高度な知識・技術を身につけ、地域の保健医療分野において活躍できる人材を受け入れます。

受入れにあたっては、入学志願者の能力、意欲および適性等を多面的に判定し、公正かつ妥当な方法で選抜試験を実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療分野の基礎知識を基盤として、柔軟な発想ができる人
- 保健医療の課題を探究するための論理的な思考力を備えた人
- 保健医療分野においてリーダーまたは管理者・教育者として貢献する意欲のある人

看護学専攻

教育研究 上の目的

看護学に関する学習に基づき現象や経験を意味付けする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力及び論理的に思考し人々に説明できる力を身に付け、高度な専門的能力を発揮できる職業人として、実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を担える人材を育成するとともに、看護学や保健医療に関する研究成果の産出を通して社会に貢献することを目的としています。

教育目標

看護学専攻では保健医療学研究科の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。
看護に関する学習や経験をふり返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身に付け、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位(30単位以上で履修基準に定める単位数)を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。
さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とする。

- 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
- 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
- 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
- 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
- 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
- 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

専門科目は、「専門共通」と「専門分野」「特別研究」の区分で構成します。

- 保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理能力・教育力等を身につける上で基盤となる教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム特論、医療倫理学特論を必修科目とする。
- これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の広がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、看護学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。
- 「専門共通」は看護学のいずれかの専門分野や特別研究を極めていくうえで、看護学として共通に学修する必要のある科目を配置し、個人のニーズに合わせて選択とする。
- 「専門分野」は、〈基盤看護〉〈育成看護〉〈成人看護〉〈高齢者看護〉〈精神看護〉〈地域看護〉の6分野22科目で構成する。看護学専攻では、専門領域ごとに特論・演習を配し、ひとつの専門領域を系統的に深め、特別研究につなげていくことを意図し、研究しようとする領域については6単位以上、それ以外の専門科目(選択)から2単位以上を履修することとする。
- 特論ではその専門領域における中心概念や理論およびその展開方法等、演習は事例検討やフィールドワーク、文献のクリティック等を通して学修した内容の理解を深化させるとともに、研究計画につなげていく。いずれも学生を主体とする発表・討論を軸に進めていく。
- 特別研究では、指導教員による個別指導を重ねながら、研究課題の探究から研究計画立案、発表会、研究の実施、中間報告会、論文作成、最終発表会と口頭試問のプロセスを経ることとし、これらを通して研究力の修得を図る。
- 2年次には研究が中心となるよう1年次にできるだけ特別研究以外の科目を履修し、1年次後期からはそれと並行して研究計画に取り組みめるよう履修指導を行う。長期履修の場合も選択する研究領域科目及び研究方法に関わる科目を履修期間の前半に履修し、系統的にリサーチワークが行えるよう履修指導を行う。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

研究科共通項目に加えて、看護学専攻は以下のような人を求めます。

- 看護実践上の課題解決に向けて自ら探究する意志のある人
- 専門分野における実践能力のさらなる深化を目指している人

医療技術科学専攻

教育研究 上の目的

臨床検査学を中心とする医療技術科学領域に関する学習や経験を基盤に、卓越した臨床検査技術を駆使する力、高度で深い知識を活用した臨床検査法の開発・改良を行う力及び健康や病態診断に関連する課題を発見し解決法を自ら創造する力を身に付け、高度な専門的能力を発揮できる職業人として、実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を担える人材を育成するとともに、医療技術科学に関する研究成果の産出を通して社会に貢献することを目的としています。

教育目標 令和3年 4月1日以降に 入学した学生

医療技術科学専攻では保健医療学研究科の教育目標を踏まえ、以下のような人材の育成を目指します。
臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身に付け、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成します。

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

本研究科に2年以上在学し、目標とする学問分野を深め、所定の単位(30単位以上で履修基準に定める単位数)を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、本研究科が行う修士論文の審査および最終試験に合格すること。
さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とする。

- 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
- ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
- 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
- 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
- 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
- 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

専門科目は、「専門共通」と「専門分野」「特別研究」の区分で構成します。

- 保健医療分野の高度専門職業人として、地域の保健医療に係る諸現象や他職種を理解し、視野の広い判断能力・指導力・管理能力・教育力等を身につける上で基盤となる教育内容を、両専攻の学生が共に学び合うことでの相乗効果を期待し、研究科の「共通科目」として7科目を配置する。そのうち、保健医療システム特論、医療倫理学特論を必修科目とする。
- これらの科目における協働学習や討論を通して培った視野の広がりや相互理解の深まり等を基盤とし、その上に、医療技術科学の専門性を追究していくことを目指して、「専門共通」「専門分野」を設ける。
- 「専門共通」は臨床検査学のいずれかの専門分野や特別研究を極めていくうえで医療技術科学として共通に学修する必要のある科目を配置し、個人のニーズに合わせて選択とする。
- 「専門分野」は、〈病因解析分野〉〈生体機能分野〉の2分野17科目で構成する。医療技術科学専攻では、専門領域ごとに特論・演習を配置し、多様な専門領域に通じていることによって、総合力として医療技術科学の専門性が高められると考えることから研究しようとする領域については4単位以上、それ以外の専門科目(選択)から4単位以上履修することとする。
- 特論ではその専門領域における最新の知見や検査法について教授し、演習では学生による文献読解のプレゼンテーション、討論あるいは実験や模擬研究等を通して専門性の深化、研究計画へとつなげていく。
- 特別研究では、指導教員による個別指導を重ねながら、研究課題の探究から研究計画立案、予備実験等を含む研究の実施、中間報告会、論文作成、最終発表会と口頭試問のプロセスを経ることとし、これらを通して研究力の修得を図る。
- 2年次には研究が中心となるよう1年次にできるだけ「特別研究」以外の科目を履修し、1年次後期からはそれと並行して研究計画に取り組みめるよう履修指導を行う。長期履修の場合も選択する研究領域科目及び研究方法に関わる科目を履修期間の前半に履修し、系統的にリサーチワークが行えるよう履修指導を行う。

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

研究科共通項目に加えて、医療技術科学専攻は以下のような人を求めます。

- 臨床検査を主とする医療技術科学分野の研究基礎能力の獲得を志す人
- 臨床検査分野の高度な専門知識と技術の修得を目指している人

助産学専攻科

Graduate Program in Midwifery

1年制
定員12名



▲助産学専攻科の
詳細情報はこちら

取得可能な資格

助産師国家試験受験資格
受胎調節実地指導員
新生児蘇生法「専門」コース修了認定

助産師国家試験 (令和5年度)

合格率

100%

(令和5年度新卒者全国平均 99.3%)

教育研究上の目的

女性のライフステージにおける助産に必要な高度な専門知識と実践力を有し、地域社会の母子保健の発展に貢献できる豊かな人間性を有する助産師の育成を教育研究上の目的とする。
(学則第48条)

教育目標

高度な実践能力を獲得し、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援することのできる専門性の高い、自立した助産師を育成します。

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するかまたは看護師国家試験受験資格を有する必要があります。

価値ある充実の1年課程

本学は短期大学の時代から愛媛県内では唯一の助産師養成機関として県内外に多くの助産師を輩出してきました。助産師国家試験受験資格を取得するには、4年間の看護基礎教育課程のなかで、看護師受験資格と同時に取得する道や大学院修士課程で取得する道もあります。そのようななか、本学助産学専攻科の特徴は、学士力と看護師としての基礎的な実践力を身に付けた上に、助産師としての専門的な知識やスキルの獲得に、1年間集中できることにあります。濃密な時間を過ごすなか、仲間同士の絆も深く、修了後のネットワーク継続にもつながっています。そこにはプラス1年の価値が十分にあると確信しています。

1年間の短い時間のなかで昼夜を問わない実習には覚悟が必要ですが、それだけにやりきった先の達成感は大きく、それを教員、実習施設の指導者、協力していただく妊産褥婦の方たちとともに喜び合える大きな感動が待っています。

本学専攻科は、命の誕生に寄り添う感動と確かな実践力を獲得したい人の要望に応えます。1年間、一緒に駆け抜けてみませんか。



専攻科長 中西 純子

主な実習施設

愛媛県立中央病院
愛媛県立今治病院
松山赤十字病院

四国中央病院
ばらのいずみクリニック
つばきウイメンズクリニック

矢野産婦人科
まつやま助産院

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー〈修了認定・学位授与の方針〉

修業すべき年数以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得していること。さらに、教育目標に照らし、以下の能力を修得できていることを要件とします。

- 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。
- 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。
- 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。
- マタニティサイクルにある対象の個性性を尊重し、対象のもつ力を最大限に発揮できる基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる。
- 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。
- 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。
- 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。



カリキュラム・ポリシー〈教育課程編成・実施の方針〉

- 知識から実践へ、そして探究へと段階的に学修を深めていきます。授業科目は「助産学基礎領域」、「助産学実践領域」および「助産学探究領域」の3つから構成されています。まず基礎的な知識や倫理観を修得したうえで、それを基盤とした実践力を身につけ、そこから助産実践の探究へと段階的に学修を深めていけるよう、授業科目を組み立てています。
- リプロダクティブヘルスを基盤とした幅広い視野を身につけることができる科目を配置します。女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができるよう、ウィメンズヘルスや思春期ヘルスケアなどの様々な科目を学びます。
- 母子や家族に寄り添い、多様な対象や活動の場における助産実践力を高められる授業や実習を展開します。母子やその家族のマタニティサイクル全体に継続して寄り添える助産師を育成するため、授業や実習では、常に対象を尊重した関わりを重視するとともに、妊娠期から育児期までの期間を継続事例とともに歩む1年間のプログラムとしています。また、助産師の活動の場を幅広く捉え、地域と密着した活動を実践する力を身につけるため、病院やクリニック、助産所など様々な施設で実習を行います。さらに、高度化する医療に対応する力を身につけるため、講義・実習ともに正常からハイリスクへと段階的に学びを深めます。
- 自立した助産師として自己教育力や他者と連携・協働する力を身につけるための学修方法を取り入れています。授業や実習は、学修者を主体とした方法やグループ活動、様々な体験学習を取り入れています。こうした学修方法により、専門職として自ら学び続ける姿勢や医療チームの中で連携・協働する力を身につけます。
- 授業や実習での学びを最終的に助産学研究として統合し、助産師としてのアイデンティティの確立を促します。授業では、助産の歴史や責務を深く学び、実習の場を通して自己の助産観を形成していきます。最終的には、自己の助産実践を研究的視点から深めることを通して専門職としてのアイデンティティを育てます。

以上のカリキュラムを通して、修了後は、助産師であることに誇りをもって専門職として母子保健や周産期医療に貢献できる力を身につけます。

学内演習

助産学生としての実践力を高めることができる学内演習プログラムが充実しています。



腹部触診

エコー

蘇生

アドミッション・ポリシー〈入学者受け入れ方針〉

助産学専攻科が求める学生像は下記のとおりです。

- 生命誕生に強い関心をもち、主体的に助産学を学習できる人
- 協調性と責任感を持ち、対象に真摯に向き合える人
- 助産師として母子の健康に貢献する意志をもつ人

カリキュラム

一歩ずつステップアップしていけるよう、段階的に講義・実習をすすめていきます。

実習では、分娩介助をはじめ、妊娠期から育児期までの継続事例との関わりの中で、母子と家族の支援を学びます。

1年間をかけて、母子の成長とともに助産学生としての成長を実感できるスケジュールとなっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	講義		集中実習		講義	夏期休暇	講義	集中実習		講義・実習	冬期休暇	実習
入学式	助産学実践領域(基礎編・発展編)		助産学実習Ⅰ 施設固定実習		発展編	実習Ⅲ(助産所・地域)		助産学実習Ⅱ (施設固定実習)		助産学実践領域(統合編) 助産学探究領域		国試期間
			助産学基礎領域		発展編	実習Ⅱ:ローテーション実習		助産学実習Ⅲ(助産所・地域活動)		助産学実習Ⅳ(健康教育)		国試期間
											国家試験準備期間	
											助産師国家試験	
											事例研究 論文発表会 地域子育て 実習発表	
											修了式	

- 実習Ⅱ:病院・クリニック継続事例受持ち
- 実習Ⅲ:助産所継続事例受持ち(選択学生)
- 実習Ⅳ:集団健康教育教室開催

学生支援 / 授業料

学びを続けるために必要な支援も充実。目標の実現に向けて、多様なニーズに応えます。

学生支援に関する方針

本学は、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送るために必要な修学支援、生活支援について、社会情勢等に即応した適切な対応を図る。また、就職・進路支援について、学生の希望に沿った支援に加え、県内就職に向けた情報発信や卒業生へのUターン支援に取り組む。

修学支援 学生の主体的学修の促進のための支援や相談体制を維持するとともに、学修の継続に困難を抱える学生や特別な配慮を要する学生を適切に支援する。授業料の減免や奨学金等による経済的支援の継続・拡充に努める。また、学生がグローバルな視点を養えるよう国際交流推進を支援する。

生活支援 学生が心身ともに健やかに、安全、安心で充実した学生生活を送れるよう支援する。健康管理体制の強化に努め、学生生活に関する相談体制を維持する。学生生活の安全面の支援を行い、サークル活動、自治会活動、課外活動、ボランティア活動等、自主的な活動を支援する。

就職・進路支援 学生の希望に沿った就職・進学の実現のための相談・支援体制を維持し、学生のニーズに適した就職セミナーや卒業生との交流等により、就職・進学に関する情報提供の充実を図るとともに、個別指導・助言体制を維持する。県内就職率の向上を図るため、県内医療機関の魅力の紹介に努め、県外に出た卒業生等の愛媛県へのUターン支援に取り組む。

修学支援

学生相談システム

学生生活で生じる様々な問題や悩みの解決を手助けするため、学生相談室を設置しています。学内相談員が相談にあたるほか外部カウンセラー（臨床心理士）による相談も行っています。その他各教員がオフィスアワーを設定し、どの教員でも相談に応じています。

クラス顧問システム

各学科学年に応じて必要数の教員が、大学生活に関する学生からの相談窓口を担当しています。学年進行に応じて必要なガイダンスや連絡などを行い、大学生活がスムーズに送れるように支援します。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度です。学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年4月に奨学金説明会を開催しています。

●詳しくは <https://www.jasso.go.jp> 日本学生支援機構ホームページ

国家試験受験への支援

各種国家資格の取得は大学生活最後の関門です。学生の自主性をもとに教職員が支援しています。学生を中心とした国家試験対策委員会を設置し、ガイダンス、模擬試験情報、手続き支援、補習講義などを企画。また、模擬試験の結果をもとに担当教員が個別指導を行います。

減免制度

経済的な理由により、授業料等（入学選考料、入学科及び授業料）を納付することが困難と認められる場合、授業料等の減免、納付猶予及び分納の制度を設けています。

生活支援

ハラスメント対策

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントへの対策は大学全体で取り組んでおり、被害が生じないような体制を整えています。

- 学生が訴えやすいような窓口の設置（学生相談システム参照）
- 全教職員がハラスメント研修、講習を受講

防犯安全対策

本学では、新たな学生生活が、安心・安全なものとなるよう、また、学生自身が被害者にも加害者にもならないよう、様々な取り組みをしています。

- 犯罪被害の防止：犯罪被害防止教室の開催、犯罪情報の周知徹底
- 交通安全指導：交通安全講習会の開催（講話・実技）

就職・進路支援

就職への支援

学生委員やクラス顧問を中心に、3・4年生を対象にガイダンスや進路セミナーを開催するほか、必要に応じて各種専門領域の教員による個別指導を行っています。また、学生ホールやホームページに就職情報コーナーを設置し、いつでも閲覧できるようにするなど、就職・進路について全学的に支援しています。卒業後も、専門職としての悩みへの相談支援や、愛媛県へのUターンの支援も行っています。

多様なニーズに対応した学生支援

本学は、「医療専門職になりたい、さらなる資格を取りたい」という学生の皆さんの夢の実現に向けて、入学から卒業までの学生生活が安全で、快適なものとなるよう、様々な側面からの支援を提供しています。卒業後も就職や転職などの相談をいつでも受け付けています。また在職中の学生が多い大学院生にも、職業生活と学生生活を両立するための相談に応じるなど、多様なニーズに対応した学生支援体制を整えています。



学生部長 山田 武司

授業料・諸費用 令和5年度実績 ※金額は改定される場合があります。

区 分		保健科学部	助産学専攻科	大学院
入学選考料		17,000円	17,000円	30,000円
入学科	県内居住者※	282,000円	169,200円	282,000円
	県外居住者	423,000円	253,800円	423,000円
授業料		535,800円	535,800円	535,800円

備考 ※次のいずれかに該当する者 ①入学者本人が、令和6年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者 ②入学者本人の配偶者又は1親等の親族が、令和6年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者 授業料は、前期（4月）後期（10月）に半額ずつ納付
・授業料の他に、教科書代や実習に係る諸経費等が必要になります。詳細は募集要項をご覧ください。
・臨地実習中のアルバイトは心身の疲労が蓄積することから自粛を勧めています。さらに、感染症流行下においては感染予防上、原則禁止することがあります。

卒業生の状況

就職率100%!それぞれの職場で生き生きと働く卒業生たちからのメッセージです。

就職率(就職希望者)

100% 卒業120名 就職96名+進学15名+継続勤務3名 ※最新の情報はHPをご覧ください。

就職状況(令和5年度)

看護学科

県内				県外				県内				県外			
愛媛県(県病院)	愛媛県内	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	東京都	大阪公立大学医学部附属病院	大阪府	愛媛県(県病院)	愛媛県内	日本赤十字社九州ブロック血液センター	福岡県	愛媛県(県病院)	愛媛県内	愛媛大学医学部附属病院	東温市	徳島県(保健師)	徳島県内
愛媛大学医学部附属病院	東温市	大阪赤十字病院	大阪府	徳島県病院局	徳島県	済生会今治病院	今治市	株式会社エスアールエル	東京都	愛媛大学医学部附属病院	東温市	徳島赤十字病院	松山市	徳島赤十字病院	徳島県内
松山赤十字病院	松山市	徳島市(保健師)	徳島県	高松赤十字病院	香川県	道後温泉病院	松山市	香川大学医学部附属病院	香川県	松山赤十字病院	松山市	四国中央病院	四国中央市	徳島赤十字病院	徳島県内
愛媛県(保健師)	愛媛県内	県立広島病院	広島県	近畿大学病院	大阪府	愛媛県総合保健協会	松山市	八幡中央病院	京都府	四国中央病院	四国中央市	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
松山市(保健師)	松山市	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	神奈川県	国立成育医療研究センター	東京都	愛媛県厚生農業協同組合連合会	松山市	日本赤十字社芳賀赤十字病院	栃木県	四国中央病院	四国中央市	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
今治市(保健師)	今治市	加古川市民病機構加古川中央市民病院	兵庫県	兵庫県立リハビリテーション病院	兵庫県	宇和島市病院局	宇和島市	独立行政法人地域医療機能推進機構九州地区	熊本県	大板公立大学医学部附属病院	大阪府	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
四国がんセンター	松山市	神戸赤十字病院	兵庫県	東京都立病院機構東京都立墨堤病院	東京都			独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター	京都府	大板公立大学医学部附属病院	大阪府	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
社会医療法人石川記念会HITO病院	四国中央市	箕面市(保健師)	大阪府	神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県			名古屋市立大学院病院	愛知県	神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
松山ベテル病院	松山市	神戸市(保健師)	兵庫県	総合東京病院	東京都					神戸市民病院機構神戸市立医療センター西市民病院	兵庫県	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
つばきウイメンズクリニック	松山市	昭和大学病院	東京都	神奈川県立こども医療センター	神奈川県					国家公務員共済組合連合会立川病院	東京都	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内
		福山市民病院	広島県							鹿児島大学病院	鹿児島県	徳島赤十字病院	徳島県内	徳島赤十字病院	徳島県内

進 学

看護学科

県内		県外		県内		県外	
愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	愛媛県	岡山県立大学保健福祉学研究所	岡山県	熊本大学教育学部養護教諭特別科	熊本県	愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科	愛媛県
		岡山大学教育学部養護教諭特別科	岡山県	京都大学大学院医学研究科	京都府	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	岡山県
		県立広島大学助産学専攻科	広島県				

卒業生からのメッセージ



看護師

松山赤十字病院 勤務

令和2年度
看護学科 卒業

戒能 英さん

1年目はローテーション研修で内科系・外科系看護を経験しました。多くの同期や先輩方と出会う事ができ支えとなっています。現在は、血液内科病棟で化学療法や移植看護に携わっています。入退院を繰り返しながら長期に及ぶ治療をしている患者さんや家族の思いを汲み取りながら、個性性のある看護が提供できるように日々頑張っています。



臨床検査技師

愛媛県立中央病院 勤務

令和4年度
臨床検査学科 卒業

富家 ひかりさん

愛媛県立中央病院は愛媛県の中核病院であり、毎日忙しいですが学ぶことが多くやりがいがあります。はじめは不安なこともありましたが、先輩方から丁寧に指導いただきながら楽しく働いています。4年間の大学生活で学び得たものも、今の私にとって大きな支えになっています。今は主に血液検査に携わっていますが、将来的には様々な分野で活躍できる臨床検査技師になりたいと考えています。



保健師

鬼北町役場
保健介護課 勤務

平成29年度
看護学科 卒業

松浦 高輝さん

大学を卒業し、保健師として働いて早数年が経過しました。小さな町で働いているからこそ地域との距離感が近く、住民の生活により深く関わり、寄り添うことができることがこの仕事の魅力の一つであると感じます。保健師として働きたいと思っている人、自分の進路や就職先で迷っている人など、さまざまだとは思いますが、小さな町の保健師で働くこともおすすめです！



助産師

愛媛県立中央病院 勤務

令和3年度
助産学専攻科 卒業

河野 安友加さん

私は県立中央病院で実習を行い、地元である愛媛の医療を担う病院で働きたいと思い入職しました。初めは不安なこともありましたが、忙しいときでも母親との関わりを通して、思いを聞くことを大切に、多くの母親に寄り添える助産師になりたいと思っています。大学での学びを活かし、助産師としてさらにスキルアップしていけるよう日々精進していきます。



大学院

愛媛県立医療技術大学
助教

令和元年度
大学院 看護学専攻 修了

石川 桂さん

「看護教員になりたい」という夢への第一歩として大学院への進学を決意しました。大学院では、専門職として得た経験から実践の意味を見つめ直すことができました。さらに、日々励まし合いながら、目標に向かって一緒に突き進んだ仲間と出会えたことは私の財産です。現在は、教員として母校に戻り、学部や大学院で得た学ぶことの楽しさを伝えていきたいと思います。

Campus Map

キャンパス
マップ

自然に恵まれたキャンパスで、
のびのびと充実した学生生活がおくれるよう
施設・設備を備えています。



食堂

食堂横には、昼食時に利用できる
スペースを設けています。



体育館

スポーツの授業で利用するほか
サークル活動でも利用できます。



大講義室

看護学科、臨床検査学科の学生が
合同で受講することができます。



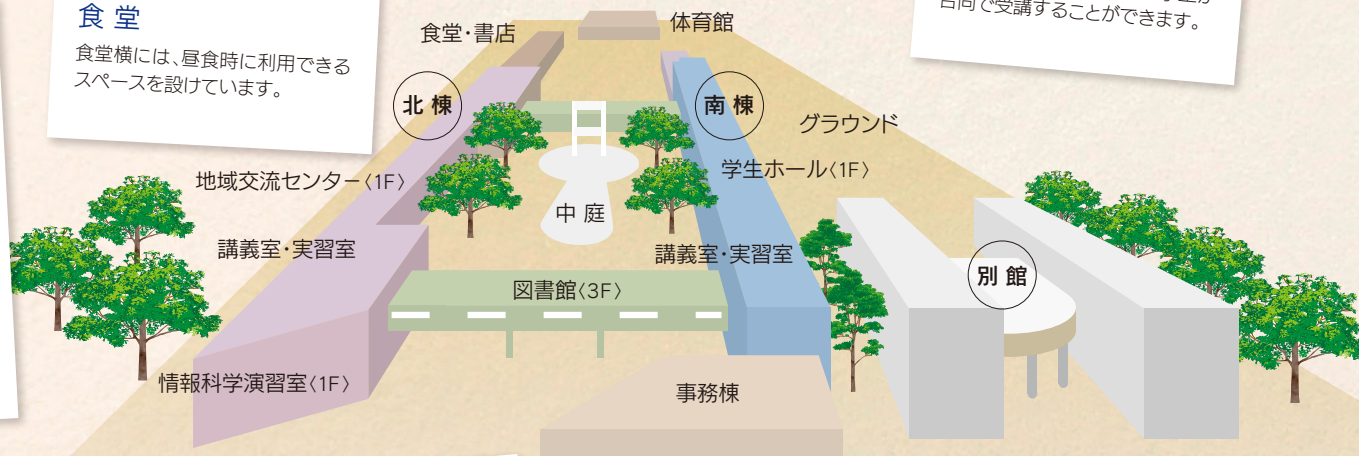
臨床化学実験室

疾患の診断に有用なデータを得
るため、生体中の物質の分析・測
定方法を学びます。



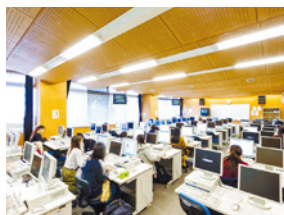
階段講義室

150インチのプロジェクターを
備えた183名収容の階段教室。
大人数で受講する授業やAV機器
を使う授業に使用します。



基礎看護学実習室

ベッドメイキングや血圧測定、採
血など基礎的な看護技術を学び
ます。



情報科学演習室

最新のパソコンを設置して、イン
ターネットに常時接続。



中庭

豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの
場となっています。



学生ホール

自動販売機、求人案内のコーナー
があります。団らん、情報交換の
場にご利用しています。



臨床生理学実習室

脳波計や超音波診断装置などで
生体の生理機能の変化を学びま
す。



成人看護学実習室

成人期にある人の治療・検査に伴
う看護や療養生活を支える看護
について学びます。

図書館

県内随一の専門資料が揃った知識と情報の宝庫。また個室学習スペースやラーニングcommonsも充実しており、学生にとっては恵まれた環境が整っています。愛媛県内の他大学や一般の方々、研究者の方々にも学びの場として活用されています。



図書館長
竹内 一人

大学だけでなく地域からも広く愛される図書館として

図書館は、学生や教員の学習や教育・研究活動を支援するための図書、学術情報データベース及び電子ジャーナル等を豊富に揃えています。医学・看護学・臨床検査学に関する資料は質・量とも県内随一であり、本学学生・教職員だけでなく他大学の学生、看護師、臨床検査技師や一般の方たちにも広く利用されています。平日は8時40分から21時、土曜日は8時40分から17時30分まで開館しており、学習スペースやラーニングcommonsは学習・教育・研究活動に利用できます。木目調の温かい雰囲気、飲み物も飲めて、眼前には雄大な石鎚山系が望め、落ち着ける環境です。

地域交流センター

地域活動への参加や外部講師によるセミナーによるスキルアップなど、学外との繋がりが持てる場を提供しています。



地域に開かれた大学として



地域交流センター長
松井 美由紀

地域交流センターは、大学とともに平成16年から、県民すべての保健・医療・福祉の増進に寄与することを目的に活動しています。この目的実現にむけ、①人材育成機能、②調査研究機能、③相談支援機能、④情報発信機能の4つの機能をもち、本学の施設、設備と教職員、学生ボランティア等の人材を活用した事業を展開しています。

Campus Calendar

キャンパス
カレンダー



4

April

入学式
前期授業開始
新入生ガイダンス

健康診断
交通安全講習会
進路セミナー

内科検診

5

May

6

June

開学記念日
犯罪被害防止教室
ホームカミングデー

7

July

8

August

前期試験
夏季休業
オープンキャンパス(第1回)

9

September

10

October

後期授業開始
学生祭(EPU Festival)
オープンキャンパス(第2回)
防災訓練

11

November

Circle

サークル紹介

楽しい学生生活の中で
個性を育てていきます！

バドミントンサークル

Laughegg (バレーボールサークル)

Ankle breaker (バスケットボールサークル)

フットサルサークル

MEDIC (テニスサークル)

VIVO (ダンスサークル)

SAKURA (茶道サークル)

sign (手話サークル)

STS (障がい児ボランティアサークル)

peer (性教育サークル)

医技タツト (災害ボランティアサークル)

学生赤十字奉仕団

吹奏楽団

軽音楽

国試対策研究会 étude

Photoxic (写真サークル)



Student Cafeteria

学生食堂

学生たちの毎日を食で支える強い味方。栄養や好みに
配慮したおいしい食事が多彩に揃っています。



12

December

冬季休業

1

January

後期試験

看護師・保健師・助産師国家試験

臨床検査技師国家試験

2

February

3

March

卒業式・修了式

春季休業

入試情報 / オープンキャンパス

8・10月にオープンキャンパスを開催します。夢に向かってチャレンジしましょう。

入学試験情報 令和5年度 入学試験実施状況 ※最新の情報はHPをご覧ください。

学部学科または専攻科の別		定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)
保健科学部	看護学科	75	前期	42	122	93	50	48	2.9	2.2	1.9
			後期	5	166	42	8	6	33.2	8.4	5.3
			推薦	26	63	63	21	21	2.4	2.4	3.0
			社会人	2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
			計	75	351	198	79	75	4.7	2.6	2.5
	臨床検査学科	25	前期	15	39	33	16	14	2.6	2.2	2.1
			推薦	10	28	28	11	11	2.8	2.8	2.5
			計	25	67	61	27	25	2.7	2.4	2.3
	学部合計	100	前期	57	161	126	66	62	2.8	2.2	1.9
			後期	5	166	42	8	6	33.2	8.4	5.3
推薦			36	91	91	32	32	2.5	2.5	2.8	
社会人			2	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
計			100	418	259	106	100	4.2	2.6	2.4	
助産学専攻科		12	地域枠(本学枠)	4	4	4	4	4	1.0	1.0	1.0
			地域枠(本学枠以外)	4	14	10	4	4	3.5	2.5	2.5
			一般枠(本学枠)	1	1	1	1	1	1.0	1.0	1.0
			一般枠(本学枠以外)	3	28	19	3	3	9.3	6.3	6.3
			計	12	47	34	12	12	3.9	2.8	2.8
保健医療学研究科	看護学専攻	5	一般／社会人	5	2	2	2	2	0.4	0.4	1.0
	医療技術科学専攻	3	一般／社会人	3	5	4	4	4	1.7	1.3	1.0
	大学院合計	8	計	8	7	6	6	6	0.9	0.8	1.0

インターネット出願を実施しています!

願書の取り寄せ不要

24時間いつでも出願可能

スマホ・タブレットからも出願可能

入学選考料の支払い方法が選択可能

※インターネット出願の導入に伴い、紙の学生募集要項は配布せず、本学ウェブサイトで公表しますので、ご注意ください。

オープンキャンパス・大学見学について

新型コロナウイルス等の感染状況により、少人数来場型、県内者限定等の対策をとる場合があります。学生によるキャンパスツアー・学生相談、教職員による進学相談を予定しています。

日程によりオンライン中継も行いますので、県外の方もご参加いただけます。

詳細は大学ホームページで確認してください。

大学見学をご希望の方は、2週間前までに事務局にご相談ください。日程調整ができれば、演習や授業をご覧いただくことも可能です。平日であれば夏休み・冬休み期間中でも対応しています。



●お問い合わせ／教務学生グループ Tel.089-958-2111



松山市中心部の商店街。バスや電車のアクセスもよく、いろんな店が並んでいるのでぶらぶら歩きが楽しい。

松山観光港

三津浜港

松山空港

JR松山駅

松山自動車道

連絡バス＋郊外電車
約40分

伊予鉄バス約30分

伊予鉄バス約20分

市内電車約10分

松山市駅

伊予鉄バス
森松・砥部線
砥部方面行
約30分

高尾田バス停

徒歩
約10分

愛媛県立国際技術大学

30



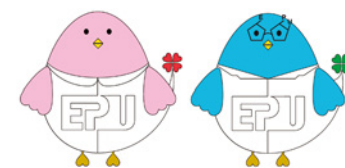
公立大学法人

愛媛県立医療技術大学

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地

TEL089-958-2111 FAX089-958-2177

<https://www.epu.ac.jp/>



トッピー

イッピー

愛媛県立医療技術大学マスコットキャラクター